

新たな100年へ

池井戸貞夫会長年度テーマ



超我の奉仕

国際ロータリー会長

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

Weekly Report

E-mail seinan1@fancy.ocn.ne.jp <http://rc.nagoya-seinan.org/>

第508回例会No. 15平成17年10月20日(木)晴

「100万ドル例会」

ロータリーソング	「手に手つないで」
出席報告	会員49名中33名出席
出席率	68.75% 出席計算人数48名
修正出席率	10月6日 93.75%
スピーカー	菅沼延之さん
ゲスト	笹田正之さん

会長挨拶

今日は、時間管理についてお話ししたいと思います。これは私が講習会などでお話しをする一部です。皆さんの企業経営の少しでもお役に立てばと思います。企業は、企業の目的とする活動を行うために人を雇用し、一日8時間、一週40時間という提供された労働力を量的、質的に管理し活用して企業活動していますが、その提供された労働量の質をいかにして高め、労働生産性や付加価値生産性等のためにいかに効率よく利用するか、ということが時間の管理です。経営者として特に認識しなければならないことは、企業経営にとって時間こそ最も乏しい資源であり、それが適切に管理されなければ、他のいかなるものも管理できないといっても過言では無いと言えます。では、時間に対する概念としては、時間とは時の流れであり、時の長さです。人の心と時間については、人間には時間を感じ取るために心があります。もしその心が時間を感じ取らないときは、その時間は無いのと同じであります。例えば、痴呆老人が空を向いてぼんやりと時間を費やしているようなものです。では時間の働きというか、時間の持つ意義と云えば、それは天皇陛下から一市民に至るまで、国民の一人一人が正確にかつ同じ量を持っているものであります。それが時間です。しかし、時間それ自体が問題ではなく、問題は我々自身(経営者、労働者など全ての人)の中に潜んでいるのです。問題は、どれくらい時間を持っているかではなく、持っている時間内で何をするか、いかに時間を有効に活用するかということです。これは個人でも企業でも同じことであります。いいかえれば、平等に与えられた時間内にいかにして自分なり、企業なりの付加価値を高めるかということです。しかも、それは、年代に応じたものでなければなりません。何故かと言えば、20代の人を持つ時間

と60代の人を持つ時間はその質が違いますし、又20代の時間は60代になって取り戻すことは出来ません。例えば、松下幸之助さんの生存時間は、約818,040時間、本田宗一郎さんの生存時間は、約735,840時間でした。自分に最高の付加価値をつけたこの二人に比べ、なかには、親の財産を食いつぶしながら暮らす人、人生の大半を刑務所で暮らす人など人生はさまざまです。企業にも、発展している企業と衰退して行く企業がありこれもさまざまです。企業にとって時間とはユニークな資源でもあります。お金のように貯めることも出来ませんし、原材料のように蓄積することも出来ません。また、機械のスイッチのように入れたり切ったりも出来ません。

とにかく、一人一日8時間、10人であれば80時間という与えられた時間内に付加価値を生み出す仕事に使わなければ、時間の「ロス」として消えてしまう性格のものであることを、経営者も働く人もよく理解していなければなりません。まさに「時」は「金なり」であります。以上

ニゴBOX

元会員 三田敏雄さん 10周年記念誌を送っていただき有難うございました。

名古屋メッキ工業(株)の菅沼延之さん、卓話宜しくお願い致します。池井戸会長、植木、小野、吉田、林、川崎、藤野、河原、浮貝、中川(敬称略)

中野さん 名古屋メッキ工業(株) 菅沼社長を紹介させていただきます。

鈴原幹事 食欲の秋です。食べ過ぎに注意! ダイエット中です。

安江さん 今日は20日彗びす。一年中についたウソ、特に妻についたウソを悔い改めましょう。

北折さん 昭和21年1月の中頃、陸軍士官学校入校約20日前、これが最後の観劇になるだろうと思いつつ見たお芝居の一幕に、「浜松屋の場」がございました。60年前を思い出しつつ、楽しく見させていただきました。有難うございました。

加藤さん 先日の御園座、大変お世話になり有難うございました。女房が大変喜んでくれました。

丸山さん メーブル街道の紅葉を見てきました。とてもきれいでした。

森さん 本日早引きします。申し訳ございません。

本日合計 43,000円

幹事報告

先ごろ、会員のID、パスワード、住所等の個人情報をあたかも国際ローターが要請するようなメールがロータリアンに送信されました。これは悪質な詐欺メッセージですので、受け取られたらすぐに削除して下さい。国際ローターは個人情報をEメールで要請することはありません。

卓話

「空気と水以外はメッキできます」

菅沼延之



原稿は割愛させていただきます。

『友』インターネット速報 2005年10月11日 No.205

東アフリカ、インドネシアでポリオ撲滅

国際ローター(RI)を含む世界的ポリオ撲滅計画は9~10月にかけて、東アフリカ地域で大規模なポリオワクチン投与を実施すると発表しました。過去3年間、ポリオ発症の報告がなかったソマリアで、この7月に1歳5か月の幼児がポリオを発症したことを受け、今後ウイルスのまん延を防ごうとするもので、8か国3,400万人の子どもたちを対象に実施。RIは今回の活動において、東アフリカとイエメンでのワクチン投与を支援することになっています。

そのほか、インドネシアでは8月30~31日の全国予防接種日の間、およそ2,400万人の子どもたちがポリオワクチンの投与を受けました。インドネシアではここ10年間、ポリオ発症の報告がありませんでしたが、今年3月に西ジャワ州で1歳8か月の幼児が発症したのを皮切りに、ウイルスが近隣の数州にまん延しました。それだけに、今回は保健担当員とボランティアスタッフ75万人が、6,000ある有人の島々で戸別訪問し、対象となったすべての子どもたちにワクチンを投与。そのうちロータリアンは2,000人が、32州中15の州で活動に参加しました。

『友』ホームページ情報

ホームページ上に掲載している「卓話(スピーチ)」と「会長の時間(クラブ会長のショートスピーチ)」をご覧になりましたか? 『ローターリーの友』誌の「卓話の泉」のウェブ版です。日本全国の読者に共通の「客観的内容の話題、ミニ知識」をテーマにした『友』誌と違い、ホームページでは、地域の特性のわかるもの、話し手の経験談など、幅広い視点で掲載しています。まだご覧でない方、ぜひ一度アクセスをしてみてください

さい。「卓話」は

http://www.rotary-no-tomo.jp/jpn/takuwa/takuwa_index.html

「会長の時間」は

http://www.rotary-no-tomo.jp/jpn/takuwa/kaicho_index.html

をそれぞれご覧ください。

ローターリー情報「4 minutes」より抜粋

29. 世界社会奉仕 (2005年6月28日現在)

ローターリークラブは、1962年以来、世界社会奉仕(World Community Service WCS)プログラムの下に、国境を越えて数多くのプロジェクトに着手し、協力してきました。ある国のローターリークラブが、他国のローターリークラブのプロジェクトに協力することで、世界社会奉仕が実施されます。協力の発端は、多種多様です。例えば、異なる国の2人のロータリアンが、国際大会で出会い、何げなく会話を始めたことが契機になることもあります。あるいは、クラブが、世界社会奉仕プロジェクト交換にプロジェクトを登録したのが、きっかけかもしれません。

RIウェブ・サイト上の世界社会奉仕プロジェクト交換データベースは、援助を必要とするプロジェクトを実施しようというクラブと、援助を提供しようという海外のクラブを結びつけるものです。この反対の方向で始まるWCSプロジェクトもあります。例えば、日本のローターリークラブが、中古の診断設備を有効に使ってくれるところがあれば寄贈したいという地元の医療器具業者がいることを知った時、このクラブは、WCSプロジェクト交換データベースのDIN 現物拠出情報ネットワークに登録します。

このプログラムは、参加ローターリークラブの間で好評です。援助を受けるローターリークラブは、地元で通常調達できる人的、物的資源の限度を超えるプロジェクトに着手できますし、一方、援助を提供するクラブは、世界の他の地域に奉仕の手を差し伸べ、その状況を向上させることができます。このようにして、プロジェクトに参加するクラブはローターリーの国際性をじかに経験する機会に恵まれ、また海外のロータリアンとの緊密な関係をもつことができます。これらのきずなは、また、新たな奉仕の機会に発展するかもしれません。

2005年の国際ローターリーの100周年を記念して双子クラブプログラムへの参加が奨励されました。二つの異なる国のクラブが国際奉仕のプロジェクトを協同で実施するものです。同じ分野に関心を持っているクラブが双子クラブとなることで奉仕活動が一層推進されます。

次回例会のご案内

11月10日(木) 第510例会

「第5回クラブフォーラム」ローターリー財団卓話